

出前講座「東広島の大地」についての報告

沖村雄二

平成 25 年 7 月 9 日、午後 1 : 3 0 ~ 3 : 0 0、東広島市立八本松中学校理科室において、約 3 0 人の生徒・教諭の方々を対象に、東広島市地域に発達する岩石・地層・化石数十点を持参し、パネル 6 枚とスライドをつかって、はじめに八本松中学校付近のボーリング資料をまとめて、地下の状態がどうなっているかを示して、東広島市地域の特徴的な地層である「西条層」を中心に話しました。「西条層」が湖成の地層ではなく、河川成であり、この地層を作った黒瀬川が、はじめは北に流れ、北部地域の隆起で南に流れ始めた証拠とした岩石や化石は、ひじょうに興味を持って観察され、質問もあって時間が足りないほどでした。講座の様子を撮ってください（写真）、お世話いただいた佐々木由佳教諭に厚くお礼申し上げます。

